

平成 26・27 年度  
第 2 回  
城東区民モニターアンケート結果

「城東区に住んで良かったと思える街づくり」



城東区マスコットキャラクター

「コスモちゃん」

平成 27 年 6 月

大阪市城東区役所

## 【1】調査の概要

### 1 調査の目的

城東区役所では「城東区に住んで良かったと思える街づくり」を目指し、地域福祉システムや防災・防犯対策、地域コミュニティの充実に努めています。

街づくりを進めるにあたりましては、毎年その年の目標や重点的な取り組みを「運営方針」としてまとめ事業を行っています。

このアンケートは、区役所が行っている事業の成果や目標への達成状況についておたずねし、事業の効果や目標までの達成状況の現状把握の参考とするため、アンケートを実施します。

### 2 調査の実施状況

調査期間：平成27年2月19日～平成27年3月8日

方法：郵送及び電子申請アンケートシステム

対象：区民モニター登録者 350人

回答者数：305人（内訳：郵送 226人 電子申請 79人）

回答率：87.1%

### 3 区民モニター数及び回答者数

		区民モニター			回答者		
		男	女	計	男	女	計
計		141	209	350	126	179	305
年代別	20歳代以下	11	25	36	8	17	25
	30歳代	18	47	65	15	41	56
	40歳代	20	43	63	20	34	54
	50歳代	20	23	43	16	21	37
	60歳以上	72	71	143	67	66	133

参考：各設問のnについては、回答対象者、【 】については回答数です。

数値(%)は、各実数をもとに比例表示し、小数第2位を四捨五入しているため内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

年齢については、平成26年4月1日を基準としています。

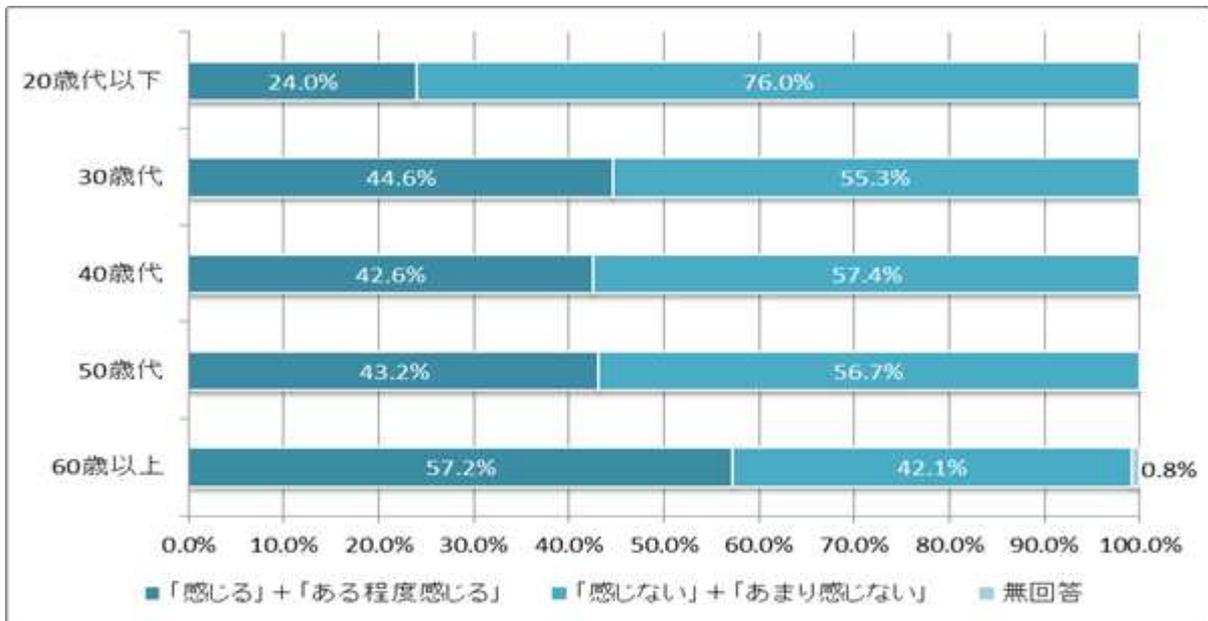
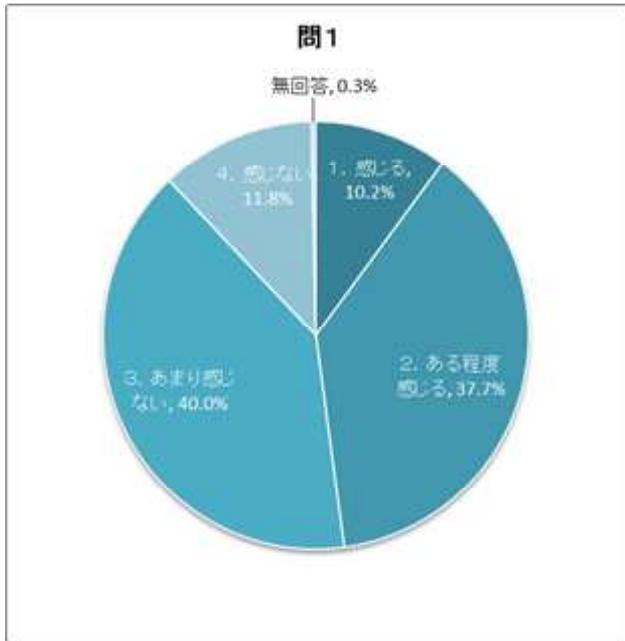
属性別傾向の考察において、サンプル数が少ないものや全体的傾向と差異がないものについてはコメントを割愛しました。

【2】調査結果の分析

問1 住民同士の「つながり」や「きずな」が増えたと感じますか。（1つ選んでください）

1. 感じる	10.2%	【31】
2. ある程度感じる	37.7%	【115】
3. あまり感じない	40.0%	【122】
4. 感じない	11.8%	【36】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

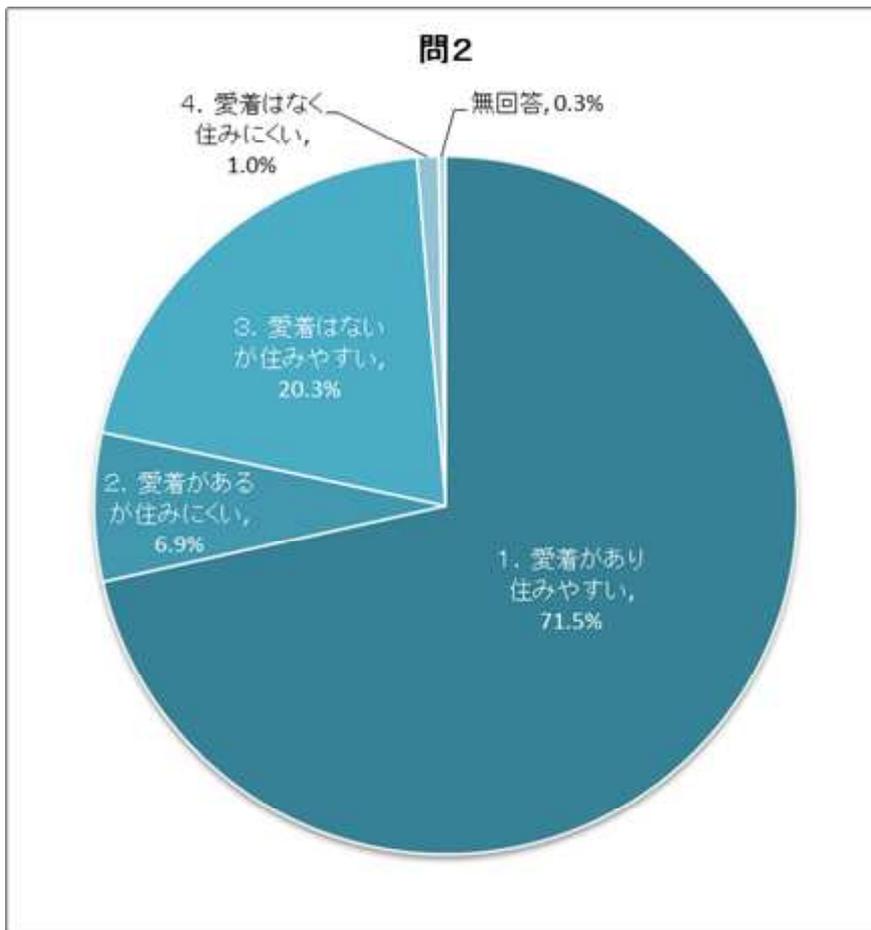
住民同士の「つながり」や「きずな」が増えたと感じますかとたずねたところ、「あまり感じない」(40.0%)が最も高く、「感じない」(11.8%)をあわせた5割の方(51.8%)が増えたと感じないと答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、60歳以上では「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた方の割合が5割を超えていますが、それ以外の年代では5割に満たない結果となっています。

問2 城東区に愛着をお持ちですか。また、住みやすいまちだと思っておられますか。  
(1つ選んでください)

1. 愛着があり住みやすい	71.5%	【218】
2. 愛着があるが住みにくい	6.9%	【21】
3. 愛着はないが住みやすい	20.3%	【62】
4. 愛着はなく住みにくい	1.0%	【3】
無回答	0.3%	【1】
		n = 305



【全体的傾向】

城東区への愛着と住みやすさについてたずねたところ、7割の方は「愛着があり住みやすい」(71.5%)と答えています。

愛着に着目すると、「愛着があり住みやすい」(71.5%)と「愛着があるが住みにくい」(6.9%)をあわせた8割の方(78.4%)は、城東区に愛着を持っていると答えています。また、住みやすさでみると、「愛着があり住みやすい」(71.5%)と「愛着はないが住みやすい」(20.3%)をあわせた9割の方(91.8%)は、城東区は住みやすいまちだと思っていると答えています。

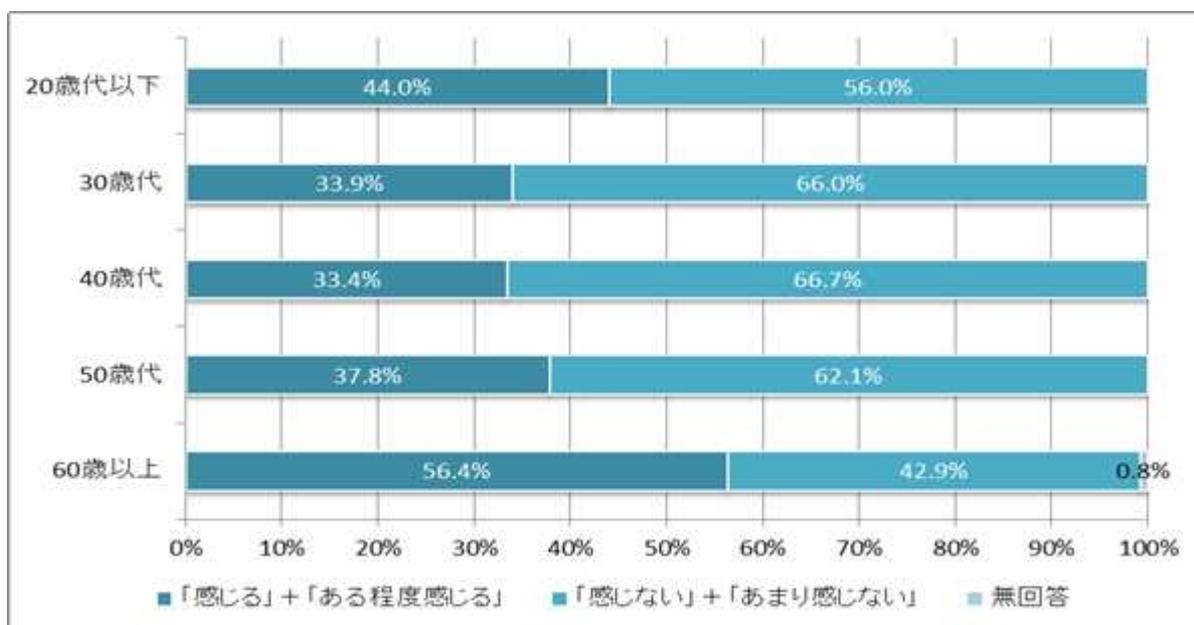
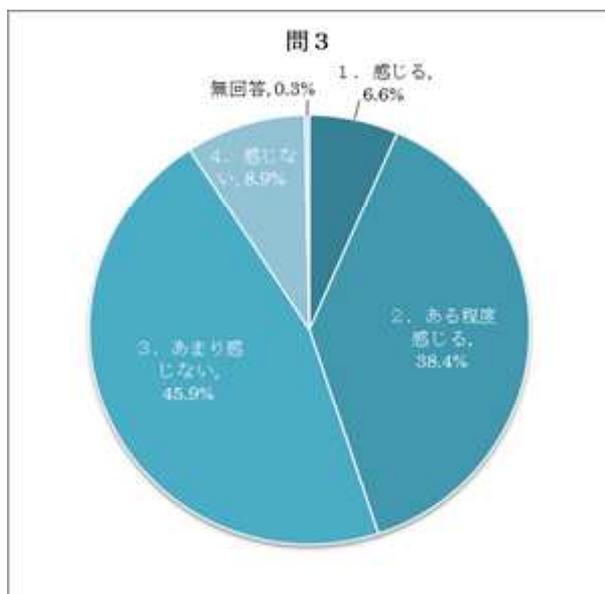
【属性別傾向】

年代別でみると、50歳代で愛着があると答えた方の割合が(「愛着があり住みやすい」(59.5%)、「愛着があるが住みにくい」(8.1%)をあわせた割合(67.6%))他の年代に比べて少し低い結果となっています(20歳代以下 88.0%、30歳代 78.6%、40歳代 76.0%、50歳代 67.6%、60歳以上 80.4%)。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

問3 地域での防災活動 が充実してきていると感じますか。 (1つ選んでください)

1. 感じる	6.6%	【20】
2. ある程度感じる	38.4%	【117】
3. あまり感じない	45.9%	【140】
4. 感じない	8.9%	【27】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



#### 【全体的傾向】

地域での防災活動が充実してきていると感じますかとたずねたところ、「感じない」(8.9%)が最も高く、「あまり感じない」(45.9%)をあわせた5割の方(54.8%)が充実してきていないと答えています。

#### 【属性別傾向】

年代別でみると、60歳以上で「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた方の割合が5割を超えていますが、それ以外の年代では5割に満たない結果となっています。

地域での防災活動とは

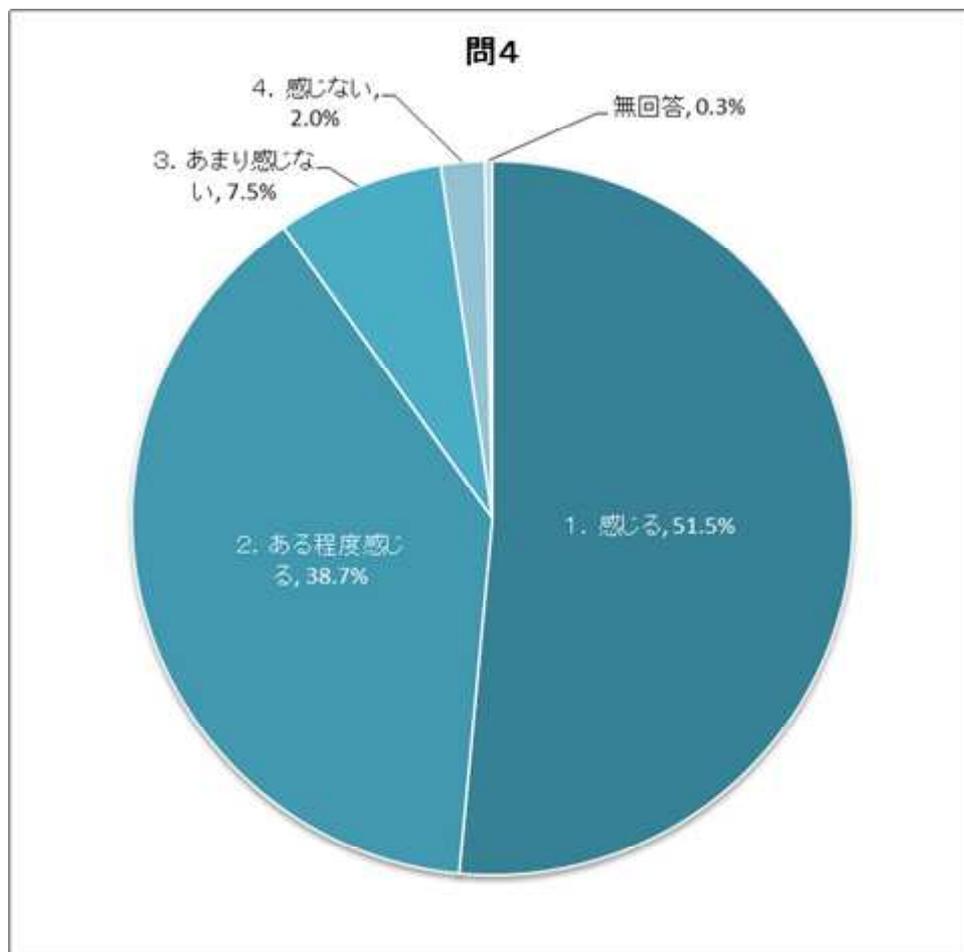
避難訓練・避難所体験・防災訓練・図上訓練・安否確認・救命救護訓練(AED等)・防災マップ作り・まち歩きなど

問4 自助・共助 による地域防災活動が必要と感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	51.5%	【157】
2. ある程度感じる	38.7%	【118】
3. あまり感じない	7.5%	【23】
4. 感じない	2.0%	【6】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



#### 【全体的傾向】

自助・共助による地域防災活動が必要と感じますかとたずねたところ、「感じる」(51.5%)が最も高く、「ある程度感じる」(38.7%)をあわせた9割の方(90.2%)が必要と感じていると答えています。

自助・共助とは

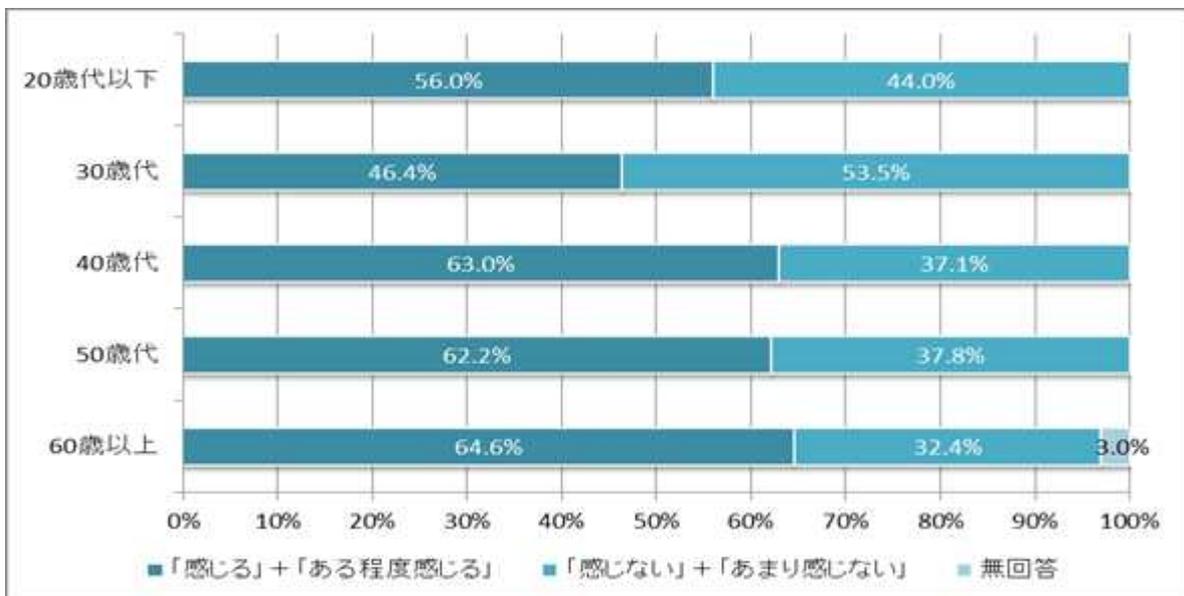
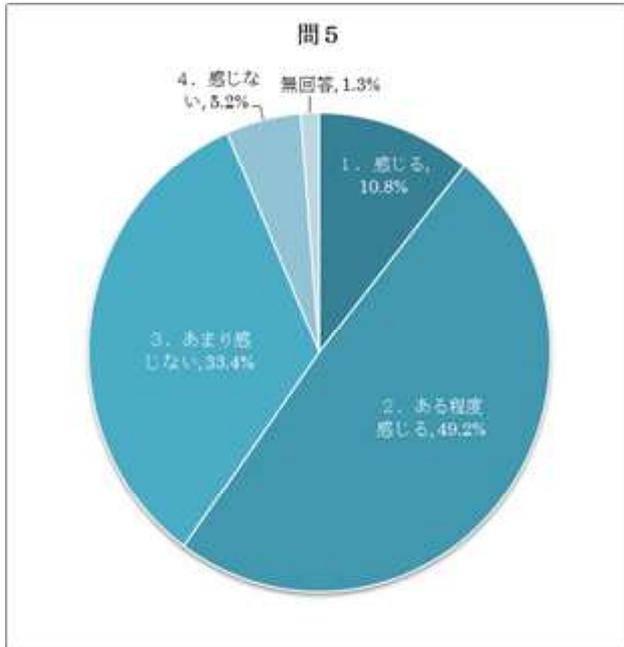
自助: 自分自身とご家族の命を守るための備えと行動

共助: 近隣のみなさんと協力し、助け合うための備えと行動

問5 子どもに対する防犯の取組みが進んでいると感じますか。 (1つ選んでください)

1. 感じる	10.8%	【33】
2. ある程度感じる	49.2%	【150】
3. あまり感じない	33.4%	【102】
4. 感じない	5.2%	【16】
無回答	1.3%	【4】

n = 305



【全体的傾向】

子どもに対する防犯の取組みが進んでいるかとたずねたところ、「ある程度感じる」(49.2%)が最も高く、「感じる」(10.8%)をあわせると6割の方(60.0%)が進んでいると感じています。

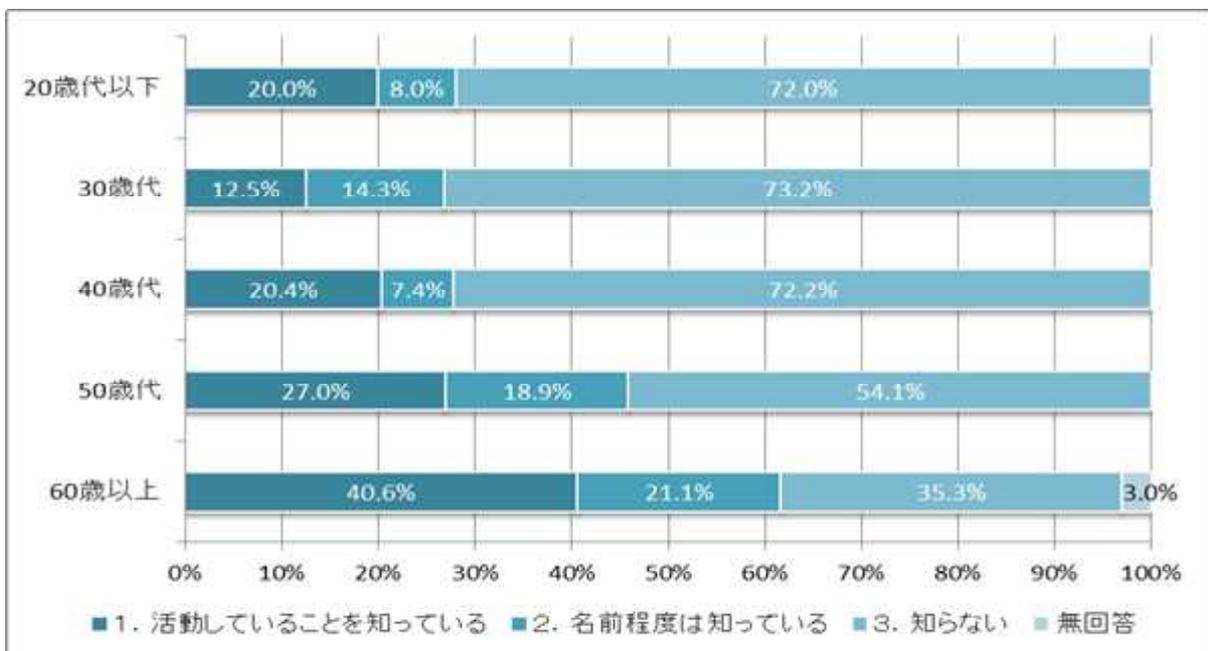
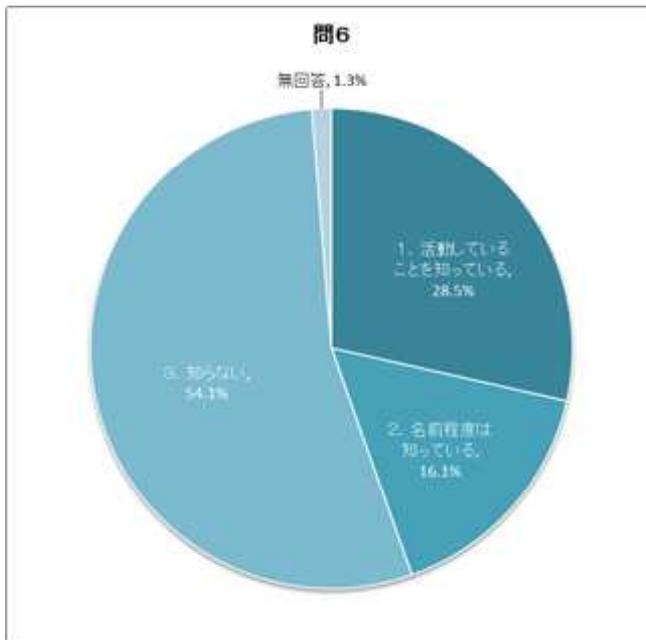
【属性別傾向】

年代別で見ると、30歳代で進んでいると感じる割合が低い結果となっています。

問6 地域団体をはじめ、NPO、企業など地域のまちづくりに関する多様な団体が参画する地域運営の仕組となる「地域活動協議会」のことを知っていますか。(城東区では16地域活動協議会が設立されています。)  
(1つ選んでください)

1. 活動していることを知っている	28.5%	【87】
2. 名前程度は知っている	16.1%	【49】
3. 知らない	54.1%	【165】
無回答	1.3%	【4】

n = 305



【全体的傾向】

「地域活動協議会」のことを知っていますかとたずねたところ、5割の方は「知らない」(54.1%)と答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、「知らない」と答えた方の割合が40歳代以下で7割を超える結果となっています。

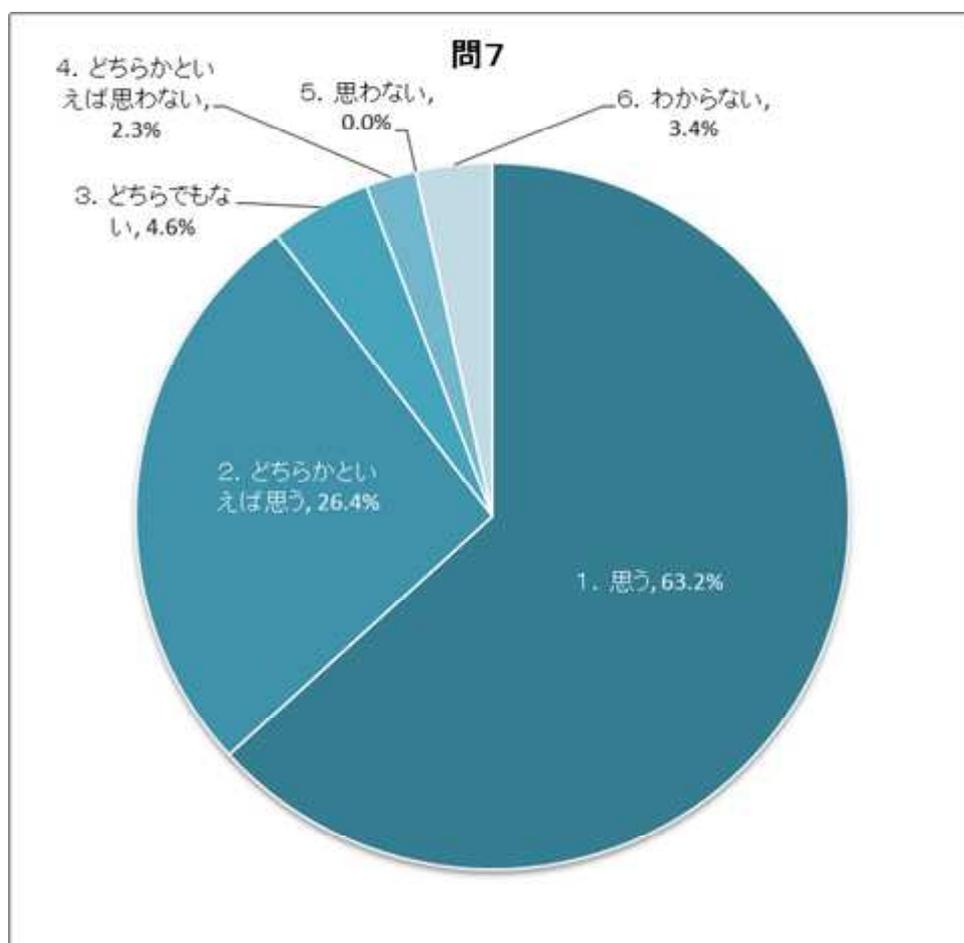
問7 ((問6で「1.活動していることを知っている」と答えた方【87名】にお聞きしました。))

各地域活動協議会では、災害訓練や地域見守り活動や歳末夜警、子育てサロンや校庭キャンプ、ふれあい喫茶や百歳体操、地域清掃や緑化活動、地域まつりや運動会、老人憩いの家の維持管理など特色ある取組が行なわれています。(地域により取り組まれている活動内容や活動名称は違います。)

これらの活動が地域のために役立っていると思いますか。(1つ選んでください)

1. 思う	63.2%	【55】
2. どちらかといえば思う	26.4%	【23】
3. どちらでもない	4.6%	【4】
4. どちらかといえば思わない	2.3%	【2】
5. 思わない	0%	【0】
6. わからない	3.4%	【3】

n = 87



#### 【全体的傾向】

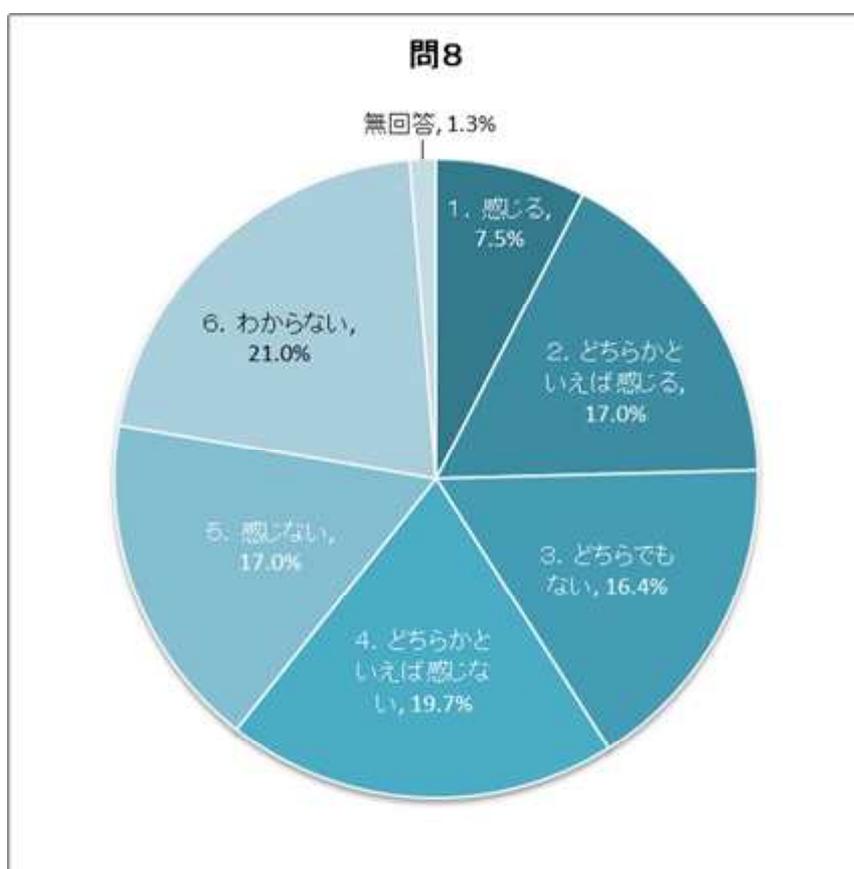
問6で「1.活動していることを知っている」と答えた方に、地域活動協議会の活動が地域のために役立っていると思いますかとたずねたところ、6割の方は「思う」(63.2%)と答えています。

問8 地域社会づくりに向けた取組みの支援にあたって、城東区まちづくりセンターなど中間支援組織の効果的な活用が必要です。

城東区において、地域社会づくりに中間支援組織 が効果的に活用されていると感じますか。 (1つ選んでください)

1. 感じる	7.5%	【23】
2. どちらかといえば感じる	17.0%	【52】
3. どちらでもない	16.4%	【50】
4. どちらかといえば感じない	19.7%	【60】
5. 感じない	17.0%	【52】
6. わからない	21.0%	【64】
無回答	1.3%	【4】

n = 305



#### 【全体的傾向】

中間支援組織が効果的に活用されているかとたずねたところ、「感じる」(7.5%)と「どちらかといえば感じる」(17.0%)をあわせた2割以上の方(24.5%)は効果的に活用されていると答えています。

#### 【属性別傾向】

年代別でみると、60歳以上で「感じる」(10.5%)と「どちらかといえば感じる」(20.3%)をあわせた方の割合が3割を超えていますが、それ以外の年代では3割に満たない結果となっています。(20歳代以下 16.0%、30歳代 21.5%、40歳代 16.7%、50歳代 24.3%、60歳以上 30.8%) (別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

中間支援組織とは

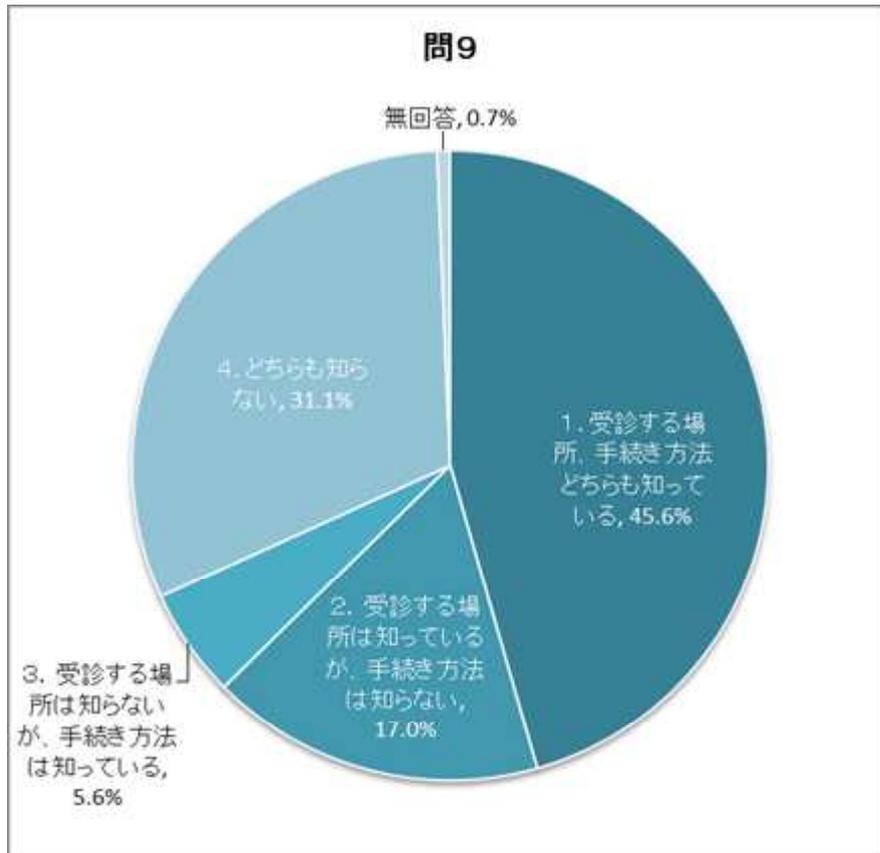
行政と地域の間立って、社会の変化やニーズを把握し、地域におけるさまざまな団体の活動や団体間の連携を支援する組織のこと。

問9 本市が実施するがん検診の受診する場所や手続き方法を知っていますか。

(1つ選んでください)

1. 受診する場所、手続き方法どちらも知っている	45.6%	【139】
2. 受診する場所は知っているが、手続き方法は知らない	17.0%	【52】
3. 受診する場所は知らないが、手続き方法は知っている	5.6%	【17】
4. どちらも知らない	31.1%	【95】
無回答	0.7%	【2】

n = 305



#### 【全体的傾向】

本市が実施するがん検診を受診する場所や手続き方法を知っているかたずねたところ、「どちらも知っている」(45.6%)、「場所は知っているが、方法は知らない」(17.0%)、「場所は知らないが、方法は知っている」(5.6%)と答えており、7割の方(68.2%)はがん検診に関して場所か方法どちらかは知っていると答えています。

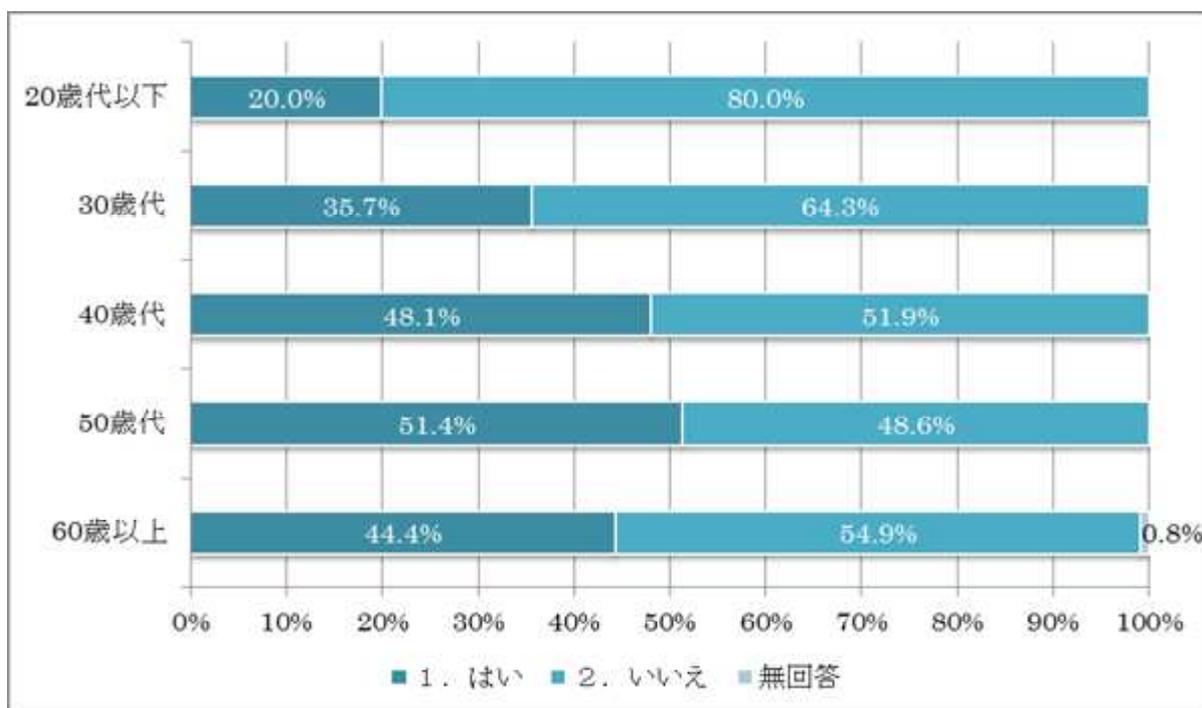
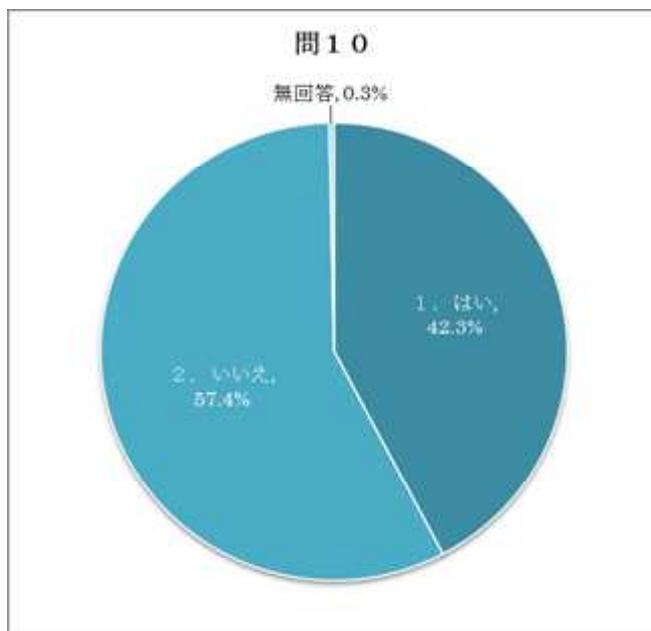
#### 【属性別傾向】

年代別で見ると、「どちらも知らない」と答えた方の割合は20歳代、30歳代で高く、60歳以上では低い結果となっています(20歳代以下 56.0%、30歳代 50.0%、40歳代 33.3%、50歳代 24.3%、60歳以上 19.5%)。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

問10 がん検診を過去2年の間に、受けたことがありますか。 (1つ選んでください)

1. はい	42.3%	【129】
2. いいえ	57.4%	【175】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

がん検診を過去2年の間に、受けたことがありますかとたずねたところ、4割の方は受けたことがあると答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、「はい」と答えた方の割合が20歳代以下で低い結果となっています。

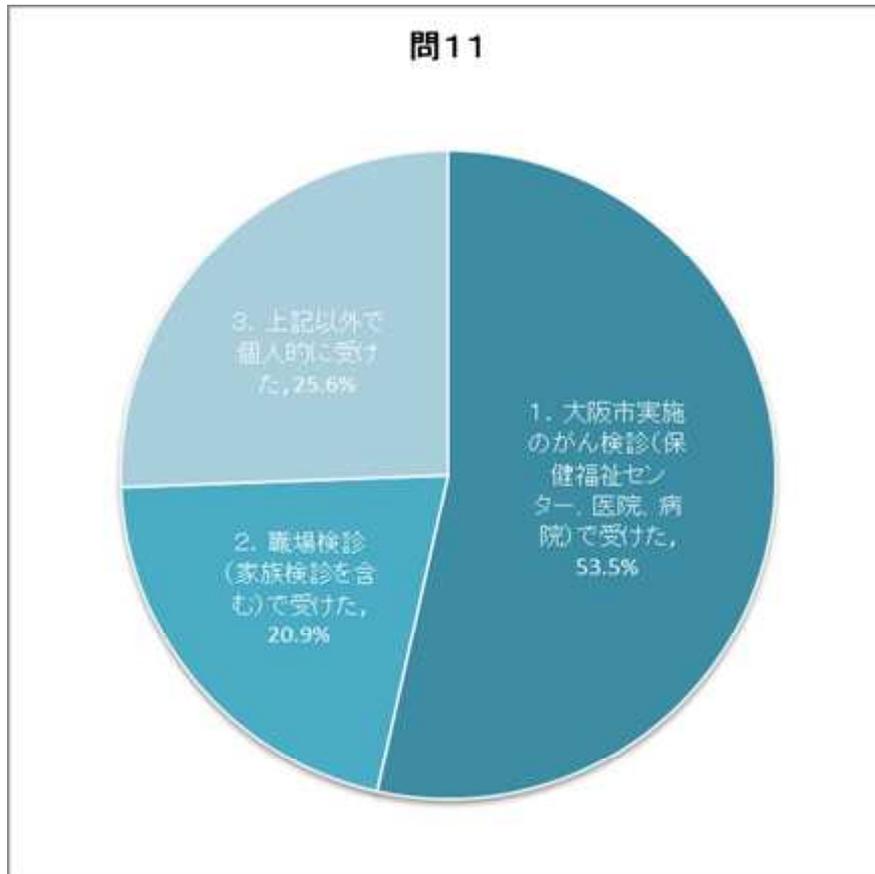
問11 (問10で「1. はい」と答えた方【129名】にお聞きしました。)

どちらでがん検診を受けましたか。

(1つ選んでください)

- |                                   |       |      |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 大阪市実施のがん検診(保健福祉センター、医院、病院)で受けた | 53.5% | 【69】 |
| 2. 職場検診(家族検診を含む)で受けた              | 20.9% | 【27】 |
| 3. 上記以外で個人的に受けた                   | 25.6% | 【33】 |

n = 129



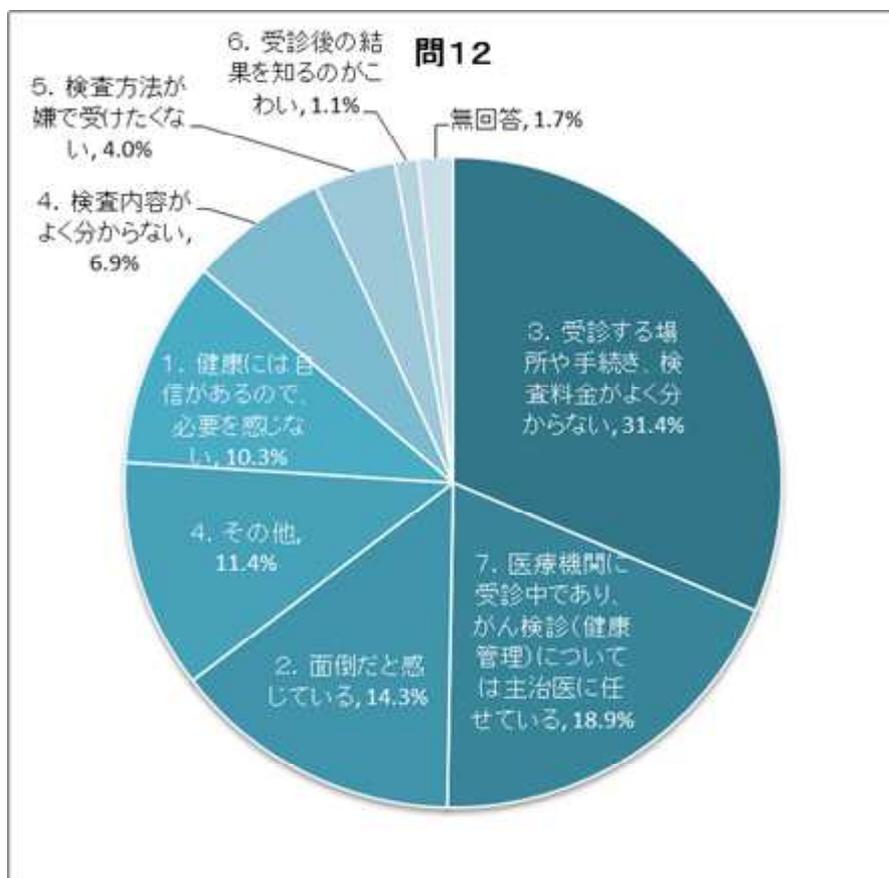
【全体的傾向】

問10で「1. はい」と答えた方にどちらでがん検診を受けましたかとたずねたところ、5割の方は「大阪市実施のがん検診(保健福祉センター、医院、病院)で受けた」(53.5%)と答えています。

問12 (問10で「2.いいえ」と答えた方【175名】にお聞きしました。)

がん検診を受けない主な理由は何ですか。(1つ選んでください)

1. 健康には自信があるので、必要を感じない	10.3%	【18】
2. 面倒だと感じている	14.3%	【25】
3. 受診する場所や手続き、検査料金がよく分からない	31.4%	【55】
4. 検査内容がよく分からない	6.9%	【12】
5. 検査方法が嫌で受けたくない	4.0%	【7】
6. 受診後の結果を知るのがこわい	1.1%	【2】
7. 医療機関に受診中であり、がん検診(健康管理)については主治医に任せている	18.9%	【33】
8. その他	11.4%	【20】
無回答	1.7%	【3】
		n = 175



【全体的傾向】

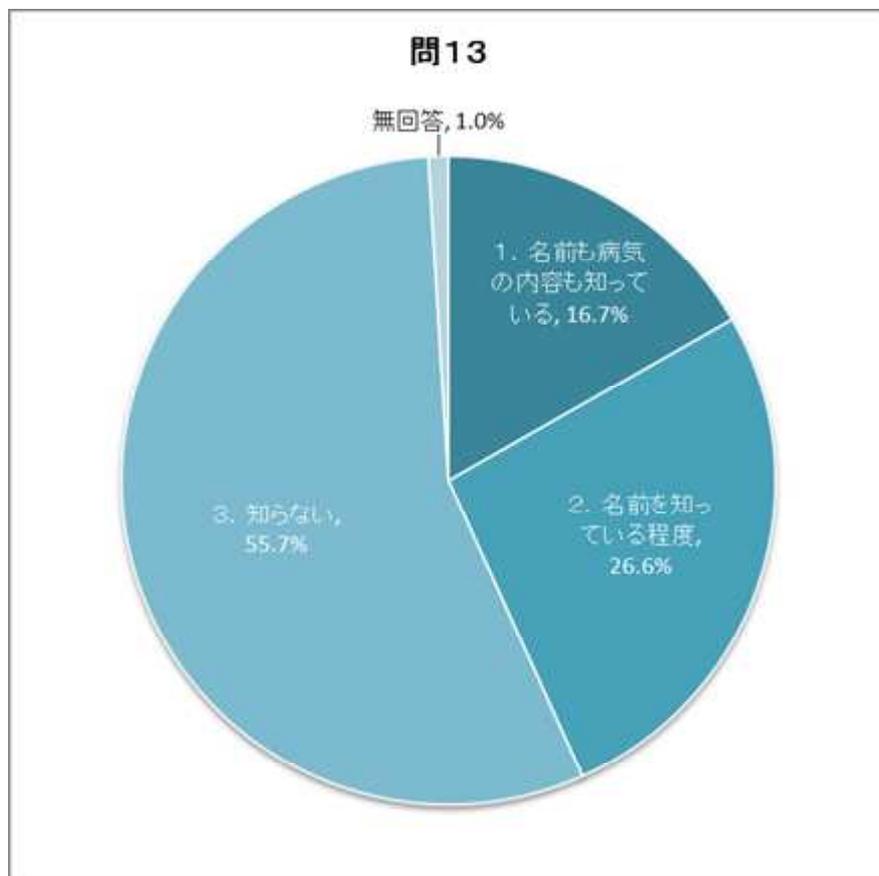
問10で「2.いいえ」と答えた方にがん検診を受けない主な理由についてたずねたところ、「受診する場所や手続き、検査料金がよく分からない」(31.4%)、「医療機関に受診中であり、がん検診(健康管理)については主治医に任せている」(18.9%)、「面倒だと感じている」(14.3%)が多い順となっています。

「その他」(11.4%)の理由としては、「仕事が忙しくて、行く暇がない」、「料金が高いイメージがある」、「まだ年齢的に早いと思っている」などの記載がありました。

問13 慢性閉塞性肺疾患（COPD）について知っていますか。 （1つ選んでください）

1. 名前も病気の内容も知っている	16.7%	【51】
2. 名前を知っている程度	26.6%	【81】
3. 知らない	55.7%	【170】
無回答	1.0%	【3】

n = 305



【全体的傾向】

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について知っていますかとたずねたところ、5割の方が「知らない」（55.7%）と答えています。

【属性別傾向】

年代別で見ると、20歳代以下で「知らない」と答えた方の割合が高い結果となっています。（20歳代以下 76.0%、30歳代 58.9%、40歳代 63.0%、50歳代 51.4%、60歳以上 48.9%）。（別紙 第2回アンケート基礎データ参照）

問14 (問13で「1. 名前も病気の内容も知っている」「2. 名前を知っている程度」と答えた方【132名】にお聞きしました。)

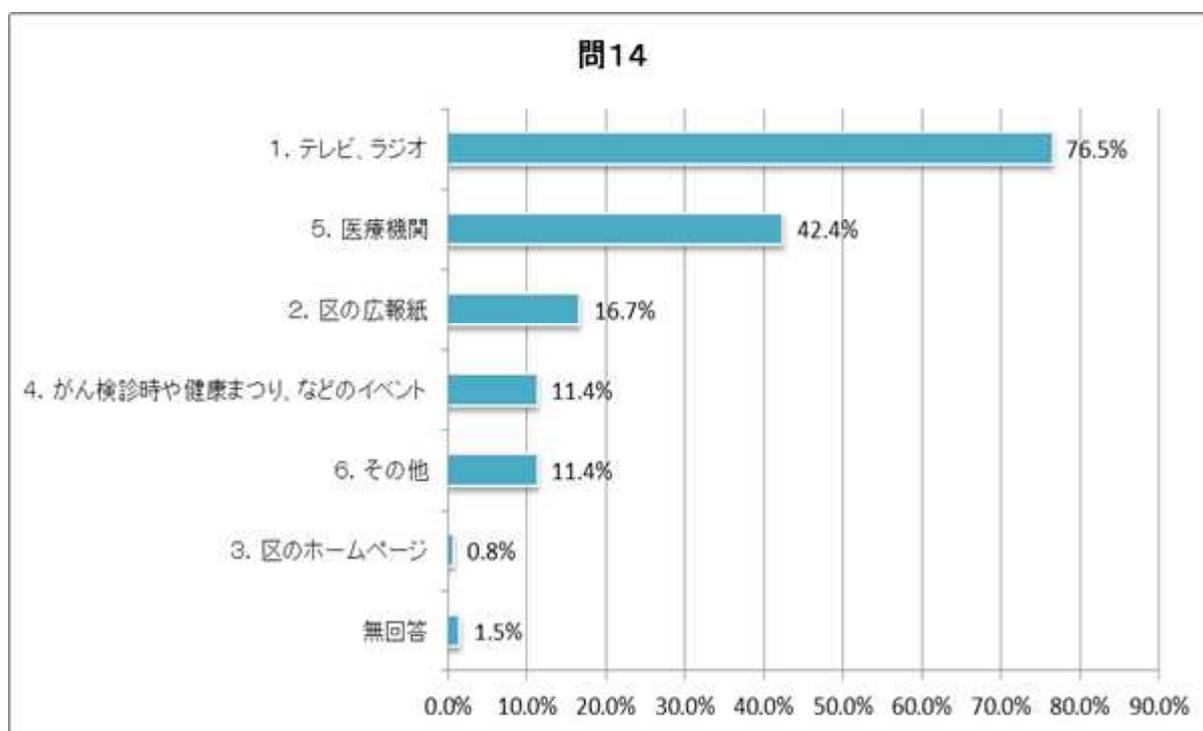
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) について何で知りましたか。

(あてはまるものすべてお選びください)

1. テレビ、ラジオ	76.5%	【101】
2. 区の広報紙	16.7%	【22】
3. 区のホームページ	0.8%	【1】
4. がん検診時や健康まつり、などのイベント	11.4%	【15】
5. 医療機関	42.4%	【56】
6. その他	11.4%	【15】
無回答	1.5%	【2】

n = 132

回答総数【212】



#### 【全体的傾向】

問13で「1. 名前も病気の内容も知っている」「2. 名前を知っている程度」と答えた方に慢性閉塞性肺疾患 (COPD) について何で知りましたかとたずねたところ、「テレビ、ラジオ」(76.5%)、「医療機関」(42.4%)が多い順となっています。

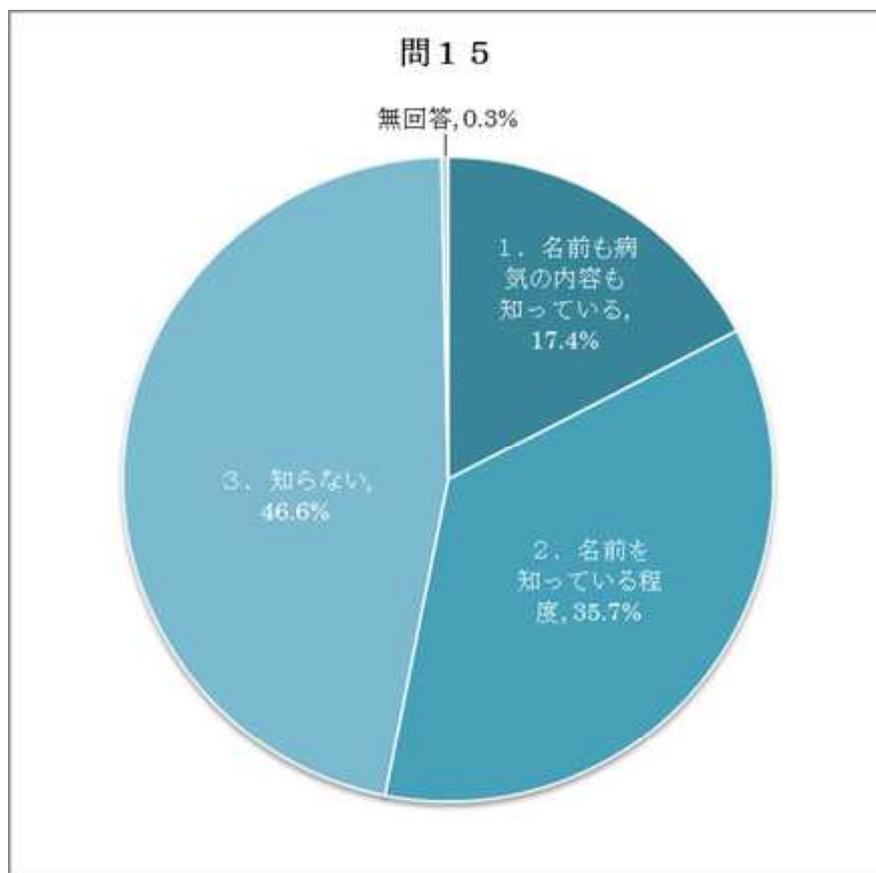
「その他」(11.4%)の回答では、「新聞」、「職場」、「大学の授業」などの記載がありました。

問15 慢性腎臓病（CKD）について知っていますか。

（1つ選んでください）

1. 名前も病気内容も知っている	17.4%	【53】
2. 名前を知っている程度	35.7%	【109】
3. 知らない	46.6%	【142】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

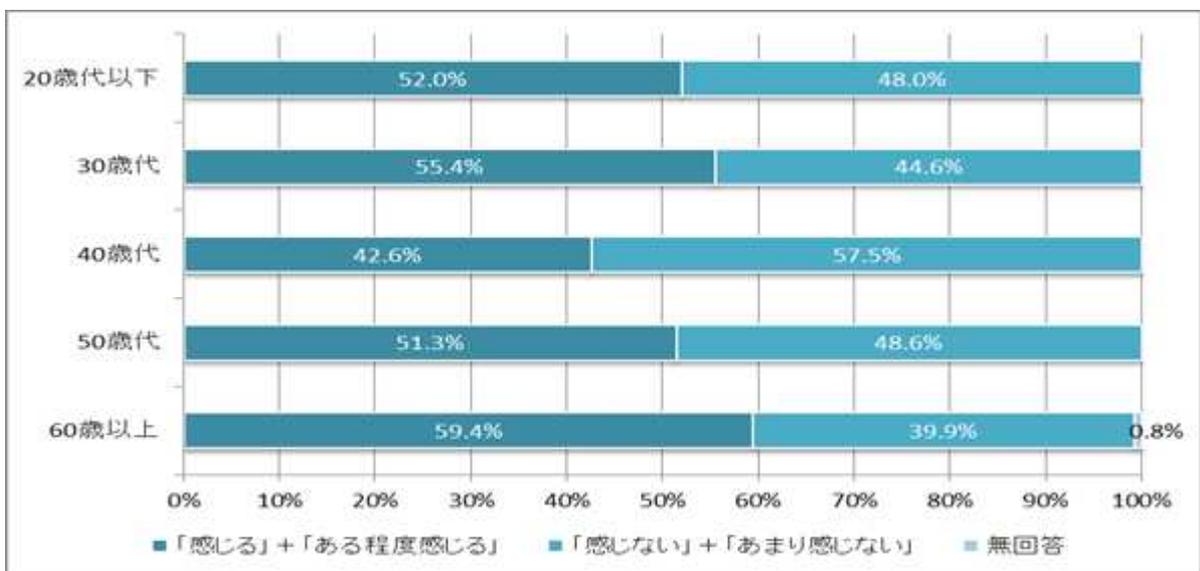
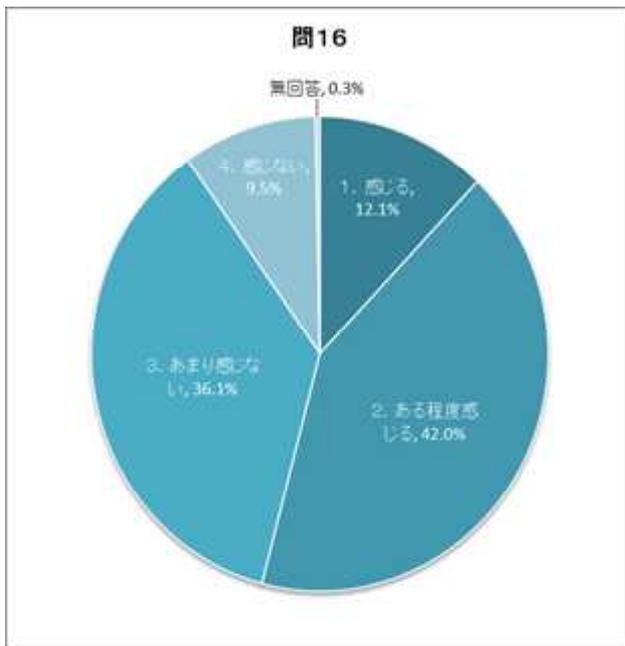
慢性腎臓病（CKD）について知っていますかとたずねたところ、5割の方が「知らない」（46.6%）と答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、20歳代以下、30歳代で「知らない」と答えた方の割合が高くなっています。（20歳代以下 72.0%、30歳代 64.3%、40歳代 46.3%、50歳代 40.5%、60歳以上 36.1%）。（別紙 第2回アンケート基礎データ参照）

問16 子育て支援、障がい者支援、高齢者支援など、城東区で福祉が推進されていると感じていますか。 (1つ選んでください)

1.感じる	12.1%	【37】
2.ある程度感じる	42.0%	【128】
3.あまり感じない	36.1%	【110】
4.感じない	9.5%	【29】
無回答	0.3%	【1】
n = 305		



【全体的傾向】

子育て支援、障がい者支援、高齢者支援など、城東区で福祉が推進されていると感じていますかとたずねたところ、「ある程度感じる」(42.0%)が最も高く、「感じる」(12.1%)をあわせた5割の方(54.1%)が感じていると答えています。

【属性別傾向】

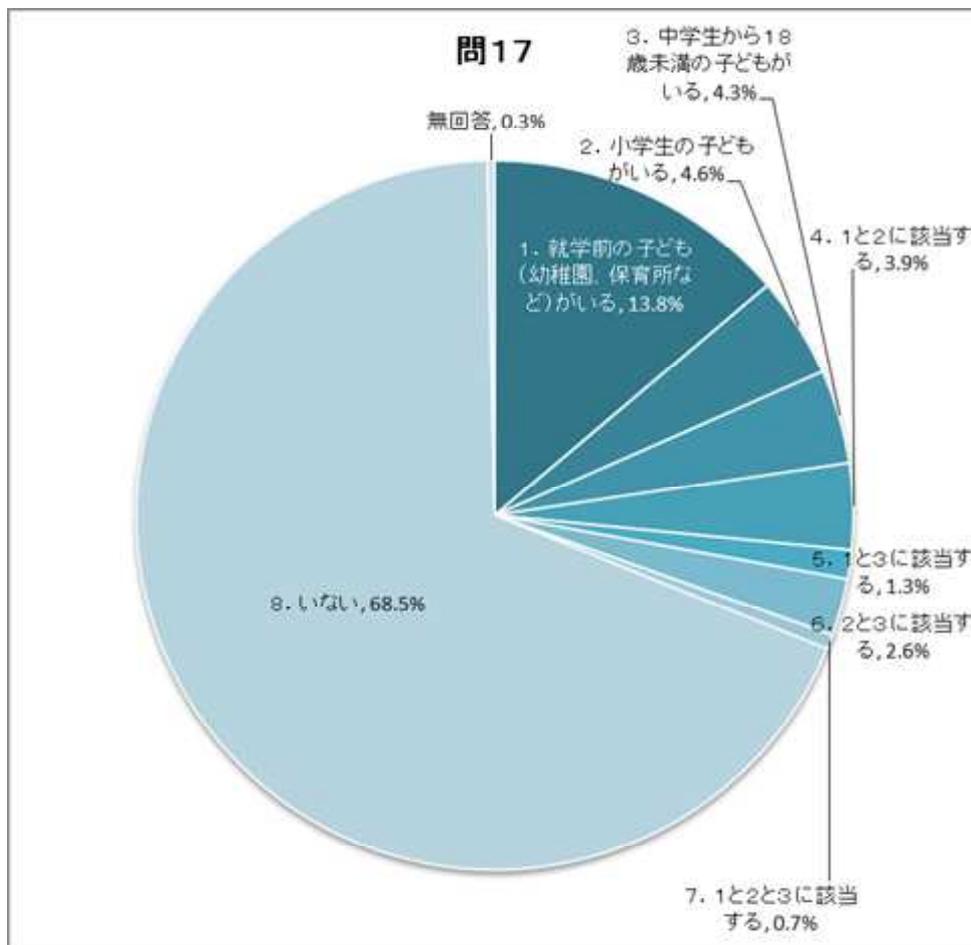
年代別で見ると、40歳代で「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた方の割合が5割を切る低い結果となっています。

問17 現在、あなたと同じ世帯に「18歳未満の子ども」がいますか。

(1つ選んでください)

1. 就学前の子ども(幼稚園、保育所など)がいる	13.8%	【42】
2. 小学生の子どもがいる	4.6%	【14】
3. 中学生から18歳未満の子どもがいる	4.3%	【13】
4. 1と2に該当する	3.9%	【12】
5. 1と3に該当する	1.3%	【4】
6. 2と3に該当する	2.6%	【8】
7. 1と2と3に該当する	0.7%	【2】
8. いない	68.5%	【209】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



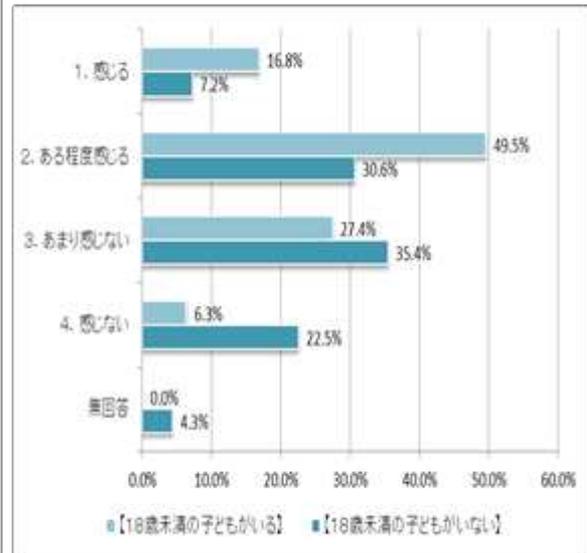
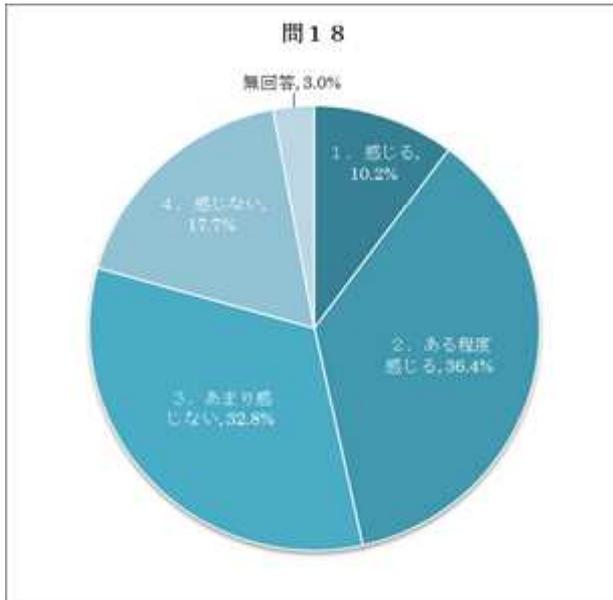
#### 【全体的傾向】

モニター世帯に「18歳未満の子ども」がいるかについて、1～8の区分で回答を得たところ、「いない」が68.5%、「就学前の子ども(幼稚園、保育所など)がいる」が13.8%と以下上記の構成となっています。

問18 城東区では、子育てに関する情報誌やマップ、ホームページなど子育て支援に関する情報発信を行っています。あなたは、子育てに関する情報が発信されていると感じますか。  
(1つ選んでください)

1. 感じる	10.2%	【31】
2. ある程度感じる	36.4%	【111】
3. あまり感じない	32.8%	【100】
4. 感じない	17.7%	【54】
無回答	3.0%	【9】

n = 305



【全体的傾向】

子育てに関する情報が発信されているかについてたずねたところ、「ある程度感じる」(36.4%)が最も高く、「感じる」(10.2%)とあわせた5割の方(46.6%)が情報の発信がされていると答えています。一方で「あまり感じない」(32.8%)と「感じない」(17.7%)をあわせた5割の方は情報の発信がされていないと答えています。

【属性別傾向】

同一世帯に子どもがいるかいないかでみると、「18歳未満の子どもがいる」と答えた方では、「感じる」(16.8%)と「ある程度感じる」(49.5%)をあわせた方の割合(66.3%)が7割に近い結果となっていますが、「18歳未満の子どもがいない」と答えた方では、4割弱(37.8%)と差が生じた結果となっています。

次に年代別でみると、30歳代で「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた方の割合が7割に近い高い結果となっています(20歳代以下 40.0%、30歳代 66.1%、40歳代 40.7%、50歳代 48.6%、60歳以上 41.3%)。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

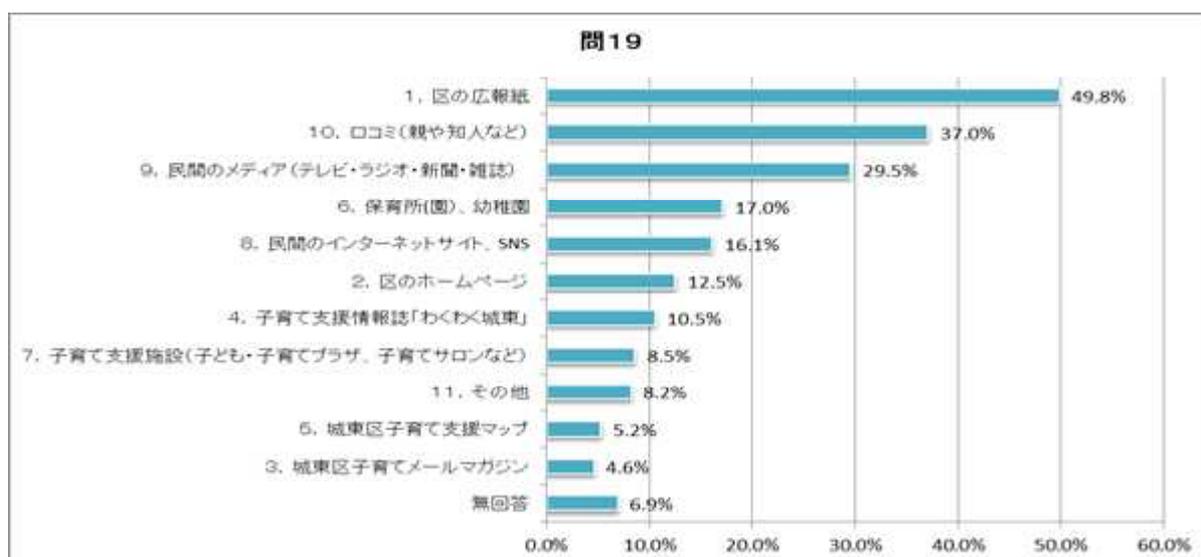
問19 あなたは、子育てに関する情報をどこから入手しますか。

(主なもの3つまで選んでください)

1. 区の広報紙	49.8%	【152】
2. 区のホームページ	12.5%	【38】
3. 城東区子育てメールマガジン	4.6%	【14】
4. 子育て支援情報誌「わくわく城東」	10.5%	【32】
5. 城東区子育て支援マップ	5.2%	【16】
6. 保育所(園)、幼稚園	17.0%	【52】
7. 子育て支援施設(子ども・子育てプラザ、子育てサロンなど)	8.5%	【26】
8. 民間のインターネットサイト、SNS	16.1%	【49】
9. 民間のメディア(テレビ・ラジオ・新聞・雑誌)	29.5%	【90】
10. 口コミ(親や知人など)	37.0%	【113】
11. その他	8.2%	【25】
無回答	6.9%	【21】

n = 305

回答総数【628】



#### 【全体的傾向】

子育てに関する情報をどこから入手しますかとたずねたところ、「区の広報紙」(49.8%)「口コミ(親や知人など)」(37.0%)が多い順となっています。

「その他」(8.2%)の回答では、「区役所に直接行って情報を入手」、「子どもがいないので分からない」などの記載がありました。

#### 【属性別傾向】

「18歳未満の子どもがいる」と答えた方で見ると、「区の広報紙」(46.3%)「口コミ(親や知人など)」(46.3%)が多い結果となっています。

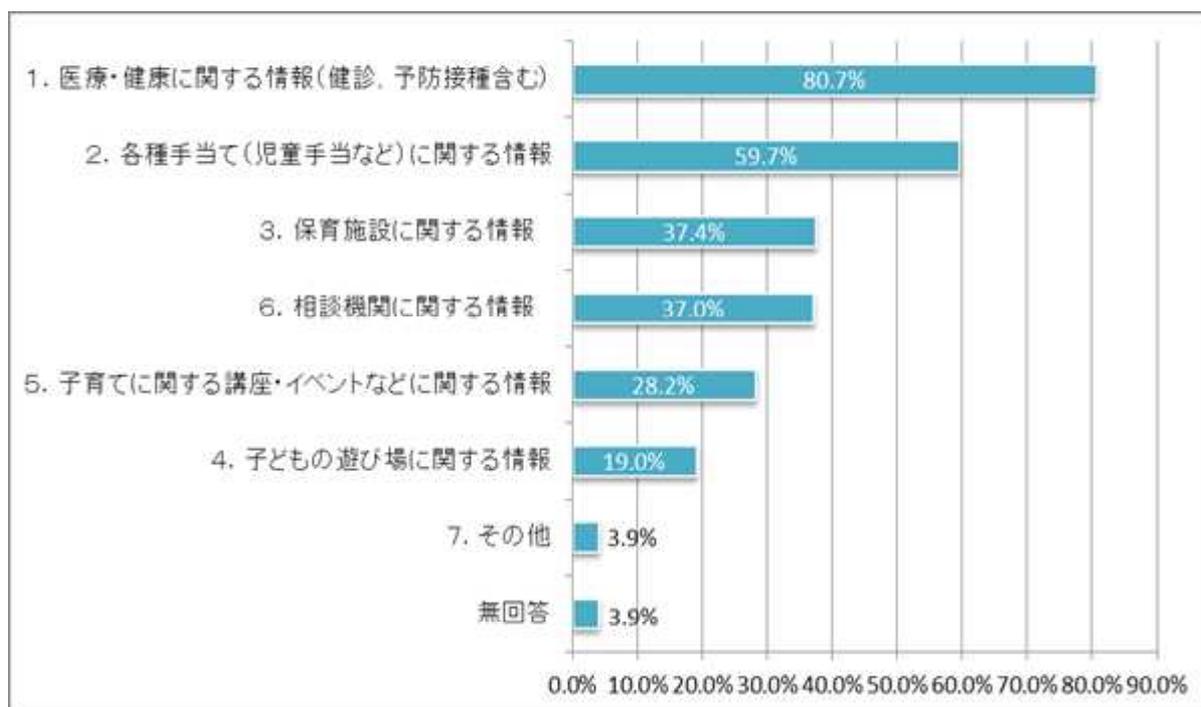
次に年代別で見ると、20歳代以下では「口コミ(親や知人など)」(52.0%)、30歳代では「保育所(園)、幼稚園」(37.5%)、40歳代以上では「区の広報紙」(40歳代：44.4%、50歳代：51.4%、60歳以上：63.9%)と答えた割合が一番多く年代によって入手方法が異なる結果となっています。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

問20 子育てに必要な情報は何かと思いますか。 (主なもの3つまで選んでください)

1. 医療・健康に関する情報(健診、予防接種含む)	80.7%	【246】
2. 各種手当(児童手当など)に関する情報	59.7%	【182】
3. 保育施設に関する情報	37.4%	【114】
4. 子どもの遊び場に関する情報	19.0%	【58】
5. 子育てに関する講座・イベントなどに関する情報	28.2%	【86】
6. 相談機関に関する情報	37.0%	【113】
7. その他	3.9%	【12】
無回答	3.9%	【12】

n = 305

回答総数【823】



#### 【全体的傾向】

子育てに必要な情報は何かとたずねたところ、「医療・健康に関する情報(健診、予防接種含む)」(80.7%)、「各種手当(児童手当など)に関する情報」(59.7%)が多い順となっています。

「その他」(3.9%)の回答には、「子どもがいないので分からない」などの記載がありました。

#### 【属性別傾向】

「18歳未満の子どもがいる」と答えた方で見ると、「各種手当(児童手当など)に関する情報」(72.6%)、「子どもの遊び場に関する情報」(30.5%)と答えた割合が全体傾向に比べて高い結果となっています。

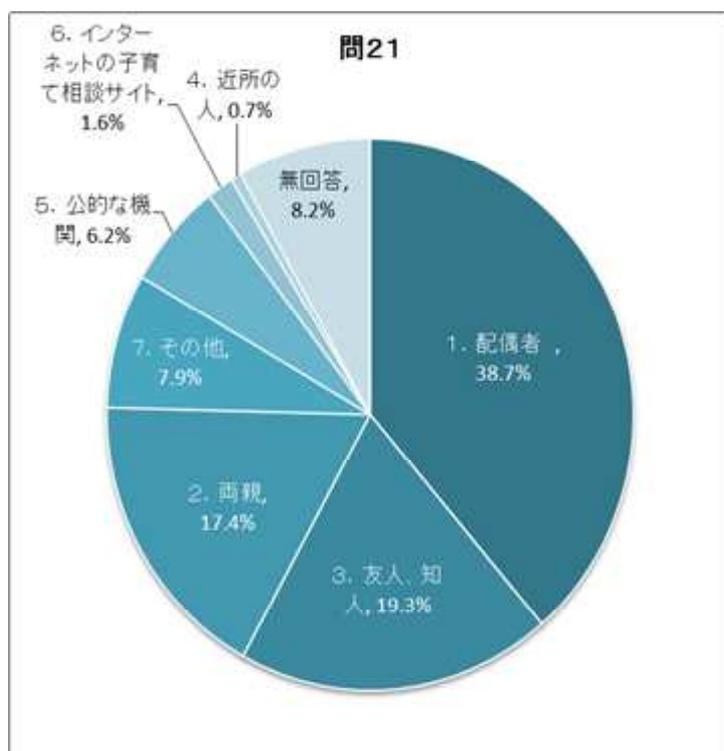
次に年代別で見ると、20歳代以下で「各種手当(児童手当など)に関する情報」と答えた割合が高く、60歳以上で低い結果となっています。(20歳代以下 76.0%、30歳代 69.6%、40歳代 68.5%、50歳代 62.2%、60歳以上 48.1%) (別紙「第2回アンケート結果基礎データ参照」)

問21 子育てで悩んでいたたり、困った場合、主に誰に相談しますか。

(1つ選んでください)

1. 配偶者	38.7%	【118】
2. 両親	17.4%	【53】
3. 友人、知人	19.3%	【59】
4. 近所の人	0.7%	【2】
5. 公的な機関	6.2%	【19】
6. インターネットの子育て相談サイト	1.6%	【5】
7. その他	7.9%	【24】
無回答	8.2%	【25】

n = 305



#### 【全体的傾向】

子育てで悩んでいたたり、困った場合、主に誰に相談しますかとたずねたところ、「配偶者」(38.7%)、「友人、知人」(19.3%)、「両親」(17.4%)が多い順となっています。

「その他」(7.9%)の回答では、「自分で解決する」、「子どもがないので分からない」などの記載がありました。

#### 【属性別傾向】

「18歳未満の子どもがいる」と答えた方で見ると、「配偶者」(62.1%)と答えた割合が高い結果となっています。

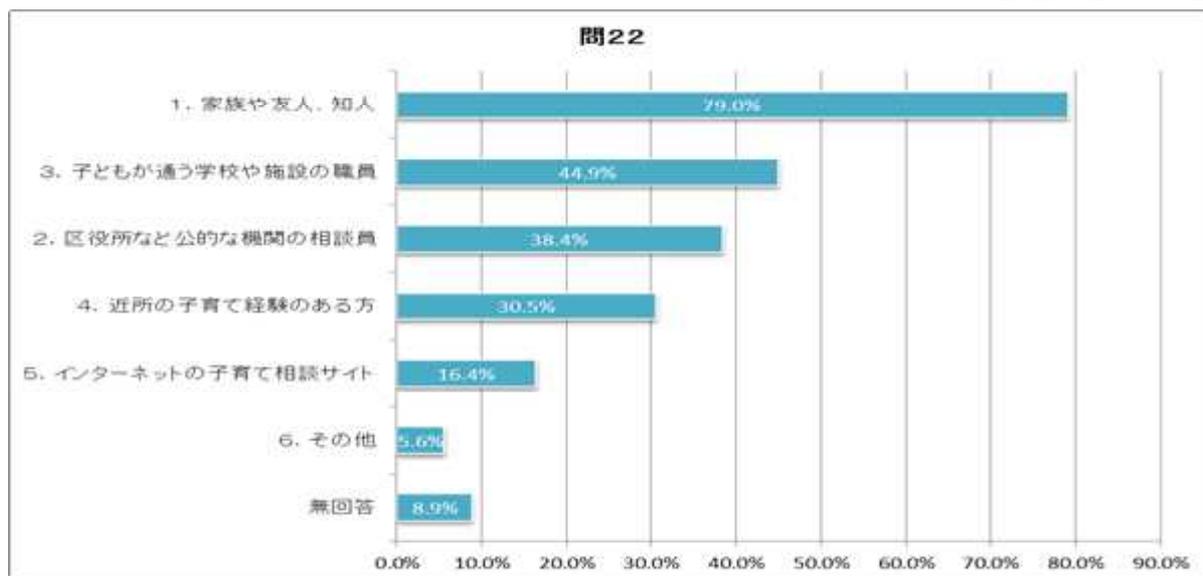
次に年代別で見ると、20歳代以下では「両親」と答えた割合が高く(20歳代以下 52.0%、30歳代 23.2%、40歳代 18.5%、50歳代 18.9%、60歳以上 7.5%)、30歳代以上では「配偶者」と答えた割合が高い結果となっています。(20歳代以下 28.0%、30歳代 57.1%、40歳代 46.3%、50歳代 35.1%、60歳以上 30.8%) (別紙「第2回アンケート結果基礎データ参照」)

問22 子育てのことについて、だれに（どんなところで）相談したいですか。

（主なもの3つまで選んでください）

1. 家族や友人、知人	79.0%	【241】
2. 区役所など公的な機関の相談員	38.4%	【117】
3. 子どもが通う学校や施設の職員	44.9%	【137】
4. 近所の子育て経験のある方	30.5%	【93】
5. インターネットの子育て相談サイト	16.4%	【50】
6. その他	5.6%	【17】
無回答	8.9%	【27】

n = 305 回答総数【682】



#### 【全体的傾向】

子育てのことについて、だれに（どんなところで）相談したいですかとたずねたところ、「家族や友人、知人」（79.0%）、「子どもが通う学校や施設の職員」（44.9%）、「区役所など公的な機関の相談員」（38.4%）が多い順となっています。

「その他」（5.6%）の回答では、「医師」、「子育て経験のある専門家」、「子どもがいないので分からない」など記載がありました。

#### 【属性別傾向】

「18歳未満の子どもがいる」と答えた方で見ると、「家族や友人、知人」（91.6%）、「子どもが通う学校や施設の職員」（58.9%）と答えた割合が高い結果となっています。

次に年代別で見ると、20歳代以下、30歳代では「家族や友人、知人」と答えた割合が高く（20歳代以下 92.0%、30歳代 91.1%、40歳代 81.5%、50歳代 75.7%、60歳以上 71.4%）、「区役所など公的な機関の相談員」と答えた割合では低い結果となっています（20歳代以下 24.0%、30歳代 28.6%、40歳代 42.6%、50歳代 37.8%、60歳以上 43.6%）。

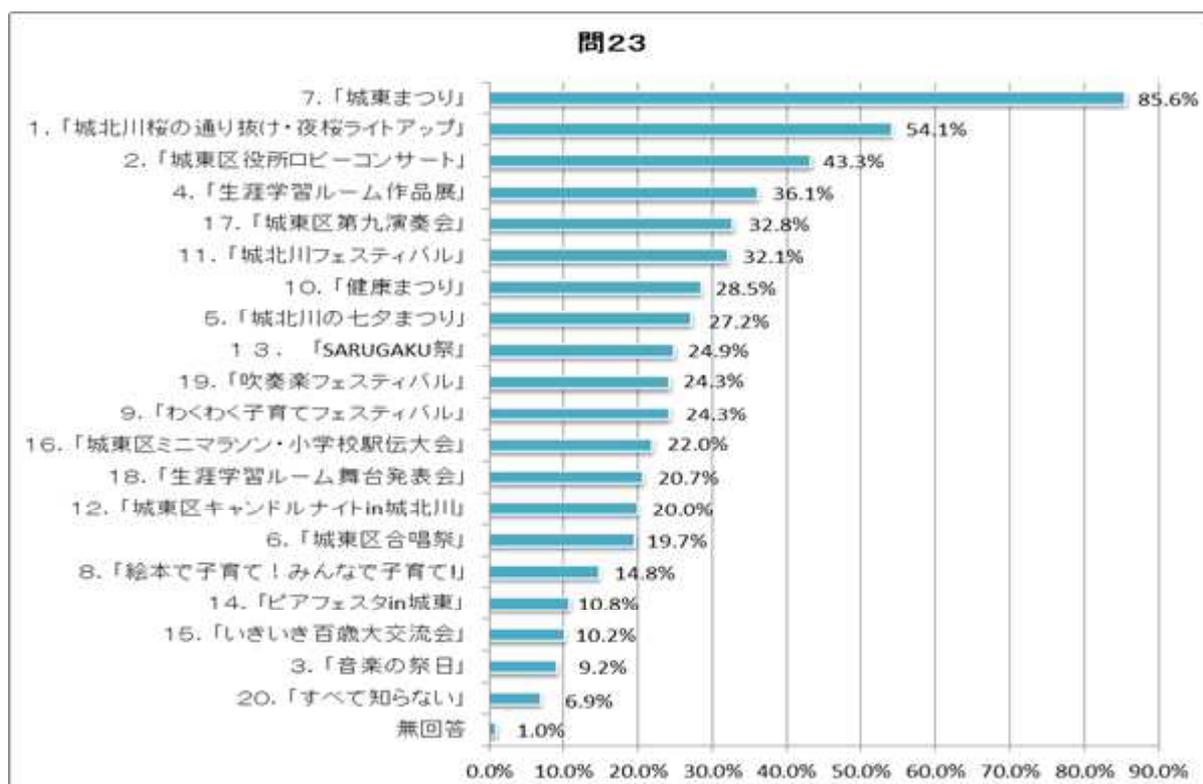
また、20歳代以下では「近所の子育て経験のある方」と答えた方の割合は高い結果となっています（20歳代以下 52.0%、30歳代 33.9%、40歳代 22.2%、50歳代 35.1%、60歳以上 27.1%）。（別紙「第2回アンケート結果基礎データ参照」）

問23 次にあげるイベント等の中から知っている（お聞きになったことがある）ものすべてをお選びください。（あてはまるものすべてをお選びください）

1. 「城北川桜の通り抜け・夜桜ライトアップ」(4月)	54.1%	【165】
2. 「城東区役所ロビーコンサート」(5月・7月・9月・11月・1月)	43.3%	【132】
3. 「音楽の祭日」(6月)	9.2%	【28】
4. 「生涯学習ルーム作品展」(6月)	36.1%	【110】
5. 「城北川の七夕まつり」(7月)	27.2%	【83】
6. 「城東区合唱祭」(8月)	19.7%	【60】
7. 「城東まつり」(8月)	85.6%	【261】
8. 「絵本で子育て！みんなで子育て！」(8月・12月)	14.8%	【45】
9. 「わくわく子育てフェスティバル」(10月)	24.3%	【74】
10. 「健康まつり」(10月)	28.5%	【87】
11. 「城北川フェスティバル」(10月)	32.1%	【98】
12. 「城東区キャンドルナイト in 城北川」(11月)	20.0%	【61】
13. 「SARUGAKU 祭」(11月)	24.9%	【76】
14. 「ピアフェスタ in 城東」(11月)	10.8%	【33】
15. 「いきいき百歳大交流会」(11月)	10.2%	【31】
16. 「城東区ミニマラソン・小学校駅伝大会」(2月)	22.0%	【67】
17. 「城東区第九演奏会」(2月)	32.8%	【100】
18. 「生涯学習ルーム舞台発表会」(3月)	20.7%	【63】
19. 「吹奏楽フェスティバル」(3月)	24.3%	【74】
20. すべて知らない	6.9%	【21】
無回答	1.0%	【3】

n = 305

回答総数【1672】



#### 【全体的傾向】

区役所等で実施しているイベント等で知っている（お聞きになったことがある）ものについてたずねたところ、「城東まつり」（85.6%）、「城北川桜の通り抜け・夜桜ライトアップ」（54.1%）、「城東区役所ロビーコンサート」（43.3%）、「生涯学習ルーム作品展」（36.1%）が多い順となっています。

#### 【属性別傾向】

年代別で見ると、20歳代以下では「生涯学習ルーム作品展」（8.0%）、「城東区役所ロビーコンサート」（16.0%）と答えた割合が低い結果となっています。また、40歳以上では「城東区ミニマラソン・小学校駅伝大会」（42.6%）と答えた割合が高い結果となっています。（別紙「第2回アンケート結果基礎データ参照」）

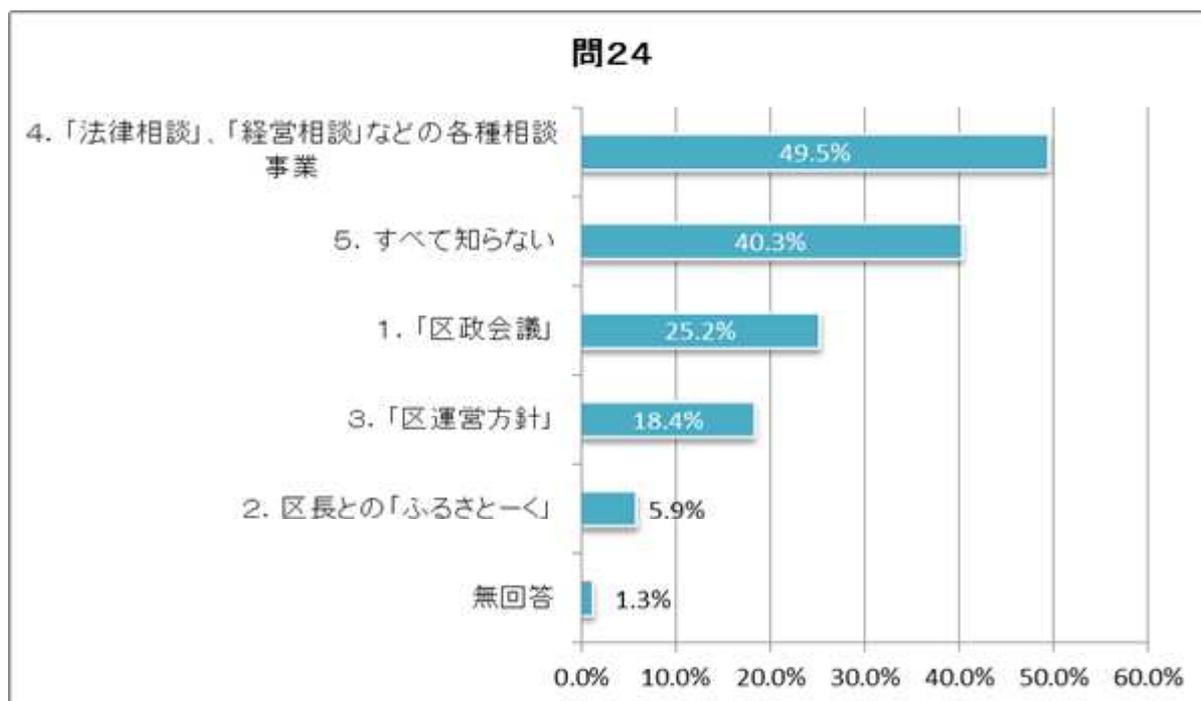
問24 次の中から知っているものを選んでください。

(あてはまるものすべてお選びください)

1. 「区政会議」	25.2%	【77】
2. 区長との「ふるさとーく」	5.9%	【18】
3. 「区運営方針」	18.4%	【56】
4. 「法律相談」、「経営相談」などの各種相談事業	49.5%	【151】
5. すべて知らない	40.3%	【123】
無回答	1.3%	【4】

n = 305

回答総数【429】



#### 【全体的傾向】

区役所で実施している事業で知っているものについてたずねたところ、「法律相談」、「経営相談」などの各種相談事業(49.5%)、「区政会議」(25.2%)が多い順となっています。一方で4割の方は「すべて知らない」(40.3%)と答えています。

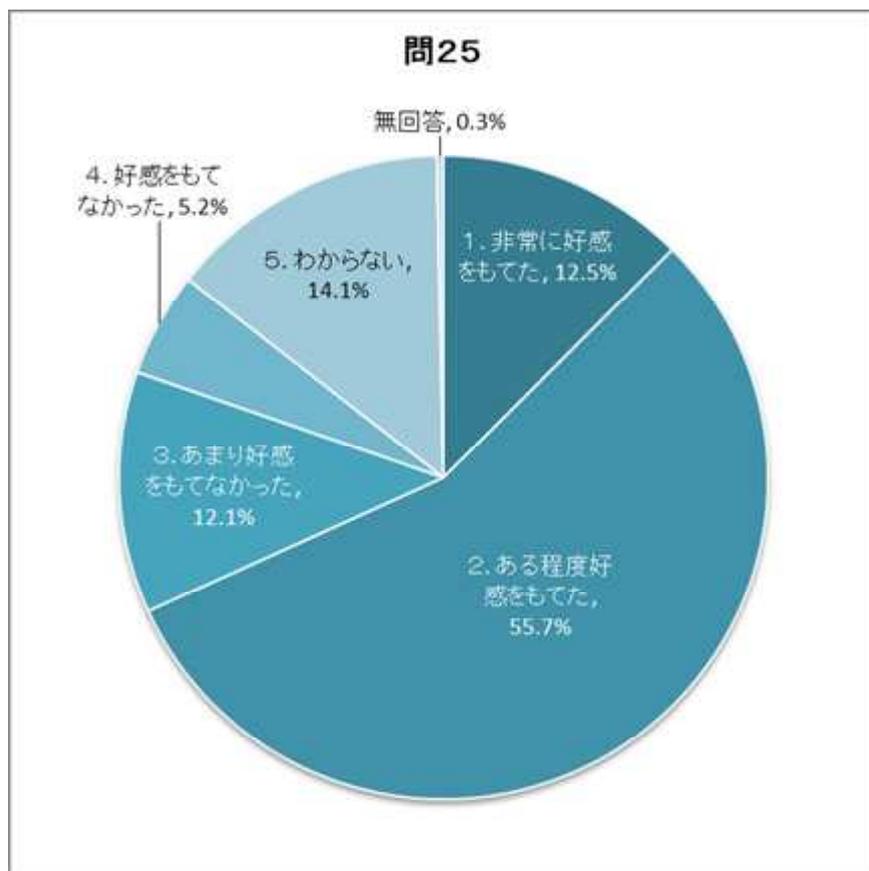
#### 【属性別傾向】

年代別でみると、「すべて知らない」(40.3%)と答えた割合は20歳代以下、30歳代、40歳代で高く、60歳以上で低い結果となっています(20歳代以下 64.0%、30歳代 64.3%、40歳代 57.4%、50歳代 37.8%、60歳以上 19.5%)。

問25 窓口や電話での区役所職員の対応は、好感をもてますか。 (1つ選んでください)

1. 非常に好感をもてた	12.5%	【38】
2. ある程度好感をもてた	55.7%	【170】
3. あまり好感をもてなかった	12.1%	【37】
4. 好感をもてなかった	5.2%	【16】
5. わからない	14.1%	【43】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

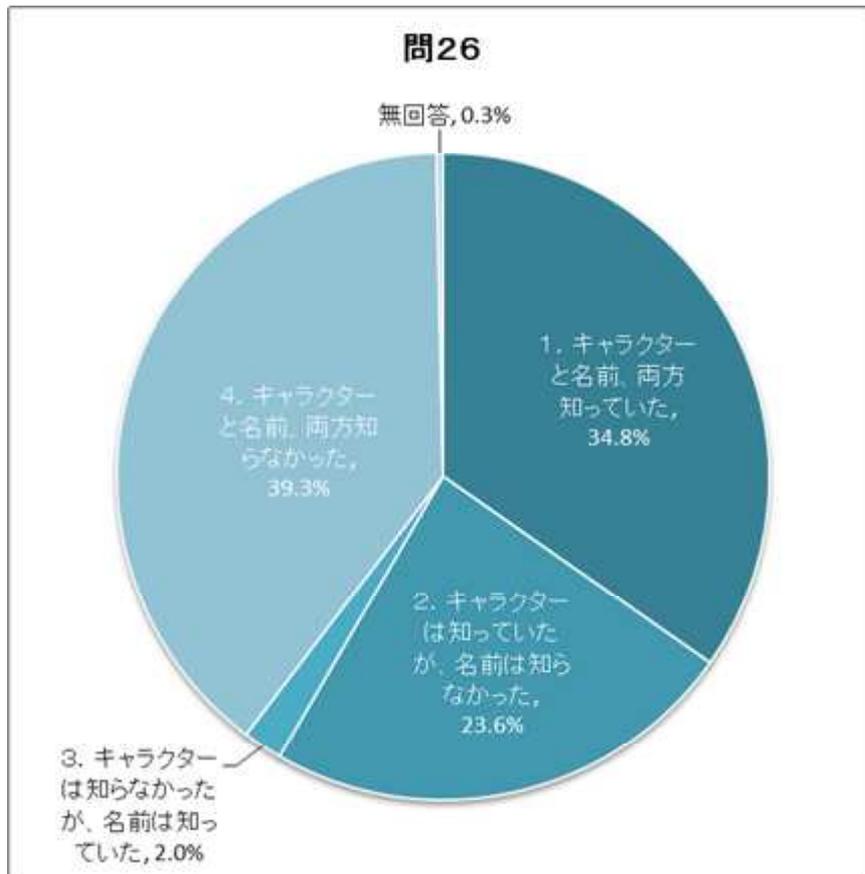
窓口や電話での区役所職員の対応は、好感をもてますかとたずねたところ、「ある程度好感をもてた」(55.7%)が最も高く、「非常に好感をもてた」(12.5%)をあわせた7割の方(68.2%)が好感をもてたと答えています。

問26 城東区のマスコットキャラクター「コスモちゃん」をご存知でしたか。

(1つ選んでください)

1. キャラクターと名前、両方知っていた	34.8%	【106】
2. キャラクターは知っていたが、名前は知らなかった	23.6%	【72】
3. キャラクターは知らなかったが、名前は知っていた	2.0%	【6】
4. キャラクターと名前、両方知らなかった	39.3%	【120】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



#### 【全体的傾向】

城東区のマスコットキャラクター「コスモちゃん」をご存知でしたかとたずねたところ、「キャラクターと名前、両方知っていた」(34.8%)、「キャラクターは知っていたが、名前は知らなかった」(23.6%)、「キャラクターは知らなかったが、名前は知っていた」(2.0%)をあわせた6割の方はマスコットキャラクターのことを知っていると答えています。

#### 【属性別傾向】

性別で見ると、「キャラクターと名前、両方知らなかった」と答えた方の割合が男性(46.0%)と女性(34.6%)と大きな差があります。

年代別で見ると、30歳代で「キャラクターと名前、両方知っていた」と答えた割合は高い結果となっています(20歳代以下 28.0%、30歳代 46.4%、40歳代 27.8%、50歳代 27.0%、60歳以上 36.1%)。また、40歳代では「キャラクターは知っていたが、名前は知らなかった」と答えた割合は高い結果となっています(20歳代以下 28.0%、30歳代 21.4%、40歳代 37.0%、50歳代 24.3%、60歳以上 18.0%)。

### 【3】調査結果を受けて

#### （まちづくり）

城東区のまちに関して、8割の方が城東区に愛着を持っていると答えています。また、9割の方が住みやすいと感じていると答えています。

「住民同士の『つながり』や『きずな』が増えたと感じるかについて、「感じない」、「あまり感じない」を合わせると感じていない方が5割おられることから、城東区として区民のコミュニティづくりを今後より一層すすめる施策が必要です。

#### （防災・防犯）

防災に関して、地域での自主的な防災活動が充実してきているかについて『感じる』と『感じない』の割合が半分という結果となっています。また、9割の方が自助・共助による地域防災活動が必要と感じていると答えています。各自の備え（自助）や住民同士の助け合い（共助）により、地域の防災力を高めていくため、城東区としてより一層地域への活動支援や啓発活動に取り組む必要があります。

また、防犯に関して、6割の方は子どもに対する防犯の取り組みが進んでいると感じていると答えています。

#### （健康）

健康に関して、7割の方は本市が実施するがん検診を受診する場所、手続き方法のどちらかを知っていると答えています。しかし、がん検診の過去2年間の受診率は4割程度にとどまっています。なお、がん検診を受けない理由では「受診する場所や手続き、検査料金がよくわからない」（31.4%）が一番多い結果となっていることから、情報発信の強化に取り組む必要があります。

#### （福祉・子育て）

福祉に関して、城東区で福祉が推進されていると感じている方の割合は5割程度であることがわかりました。

子育てに関して情報が発信されていると感じるかについて、『感じる』と『感じない』の割合が五分五分という結果となっています。

子育てに関する情報の入手方法については「区の広報紙」が一番多い結果となっていますが、年代毎の入手方法は異なるため、様々な広報媒体を活用した情報発信を行う必要があります。

#### （区役所）

窓口や電話での職員の対応については、7割の方が好感をもてたということがわかりました。

次に区役所等で実施しているイベントの認知度では「城東区民まつり」（85.6%）と答えた割合が一番多い結果となっています。

区のマスコットキャラクターの認知度については6割ということがわかりました。

担当 城東区役所総務課（総合企画）

電話 06-6930-9683